

3分でわかる『認知機能セルフチェッカー』紹介資料



認知機能セルフチェッカーとは

「VR」と「視線追跡」を利用した

次世代型の認知機能検査サービス

認知症スクリーニングとして広く利用される 「神経心理学的検査」をベースとして、 同検査の大きな課題であった検査者と被験者双方の負担を 徹底的に軽減したこれまでに無い新しい検査手法です 検査について

筆記や口頭は一切必要なし

検査時間はたった3分で

認知機能の状態を評価します

*筑波大学と実施した共同研究において本検査手法が軽度認知障害(MCI)スクリーニングとして広く利用される「MoCA-Jテスト」と高い相関があることを確認しました

サービス特徴

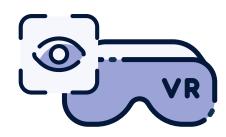
POINT 01



健常者の認知機能維持 管理を目的とした 認知機能評価

MCI段階は日常生活への影響はほとんど無いため、本人すら気づくことが難しいと言われています。認知機能の状態を評価する方法は世の中にも多くなく、本サービスを通じて多くの方に認知機能低下の早期発見や予防への意識を高めて頂きたいと考えています。

POINT 02



VRと視線追跡技術の 最新テクノロジーを活用

本検査は、「VR」を利用して認知課題を出題し、「視線だけ」で回答するというこれまでにない新しい手法を採用しています。「視線追跡」という高度な技術を活用して、回答している最中の眼の細かな動きから独自の評価アルゴリズムを通じて認知機能を定量的に測定します。

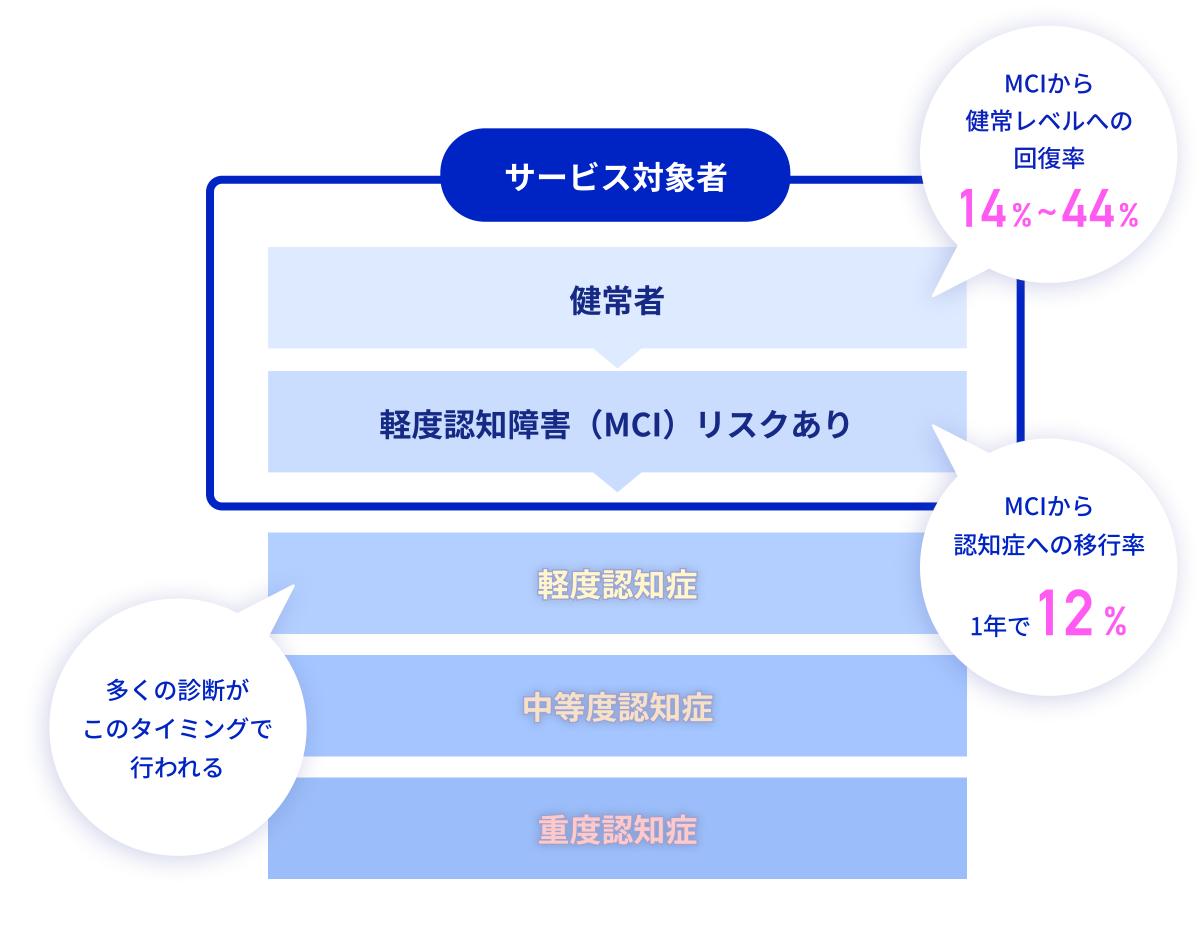
POINT 03



検査時間わずか3分 ひとりで簡単 セルフチェック

利用者と導入機関双方にとって負担の少ない サービスとして設計しています。検査時間はわずか3分以内で、利用者が一人でも検査を受け られるように自動進行で測定は行われます。

サービス対象者



既に医療機関にて「認知症」と診断されている方は 本サービスの対象外となります。 中高年の健常者に対する認知機能評価に特化し早期発見・未病行動啓発のヘルスケアサービスとして定期的な利用によって認知機能の把握を 習慣化してもらうことを目指しています







ご提供するパッケージ

- 1 VRヘッドセット
- アームスタンド(VRヘッドセット固定)
- 3 タッチスクリーン(アプリ操作)
- (後器制御)
- プリンター (結果用紙印刷)

導入機関様で必要となる設備





電源コンセント1つ (検査機器起動のため)

機器設置スペース (縦幅30cm、横幅30cm)

導入メリット

01



機器購入不要!

導入リスクはありません まずはお気軽にご相談ください 02



地域住民の健康意識向上!

認知機能の状態を把握して、 利用者の行動変容を促進します 03



検査時間わずか3分!

検査結果も、検査終了後すぐに ご確認いただけます

04



スタッフの手間は最小限!

対面応対は不要で 利用者一人で計測可能です 05



認知症予防の新たなツール!

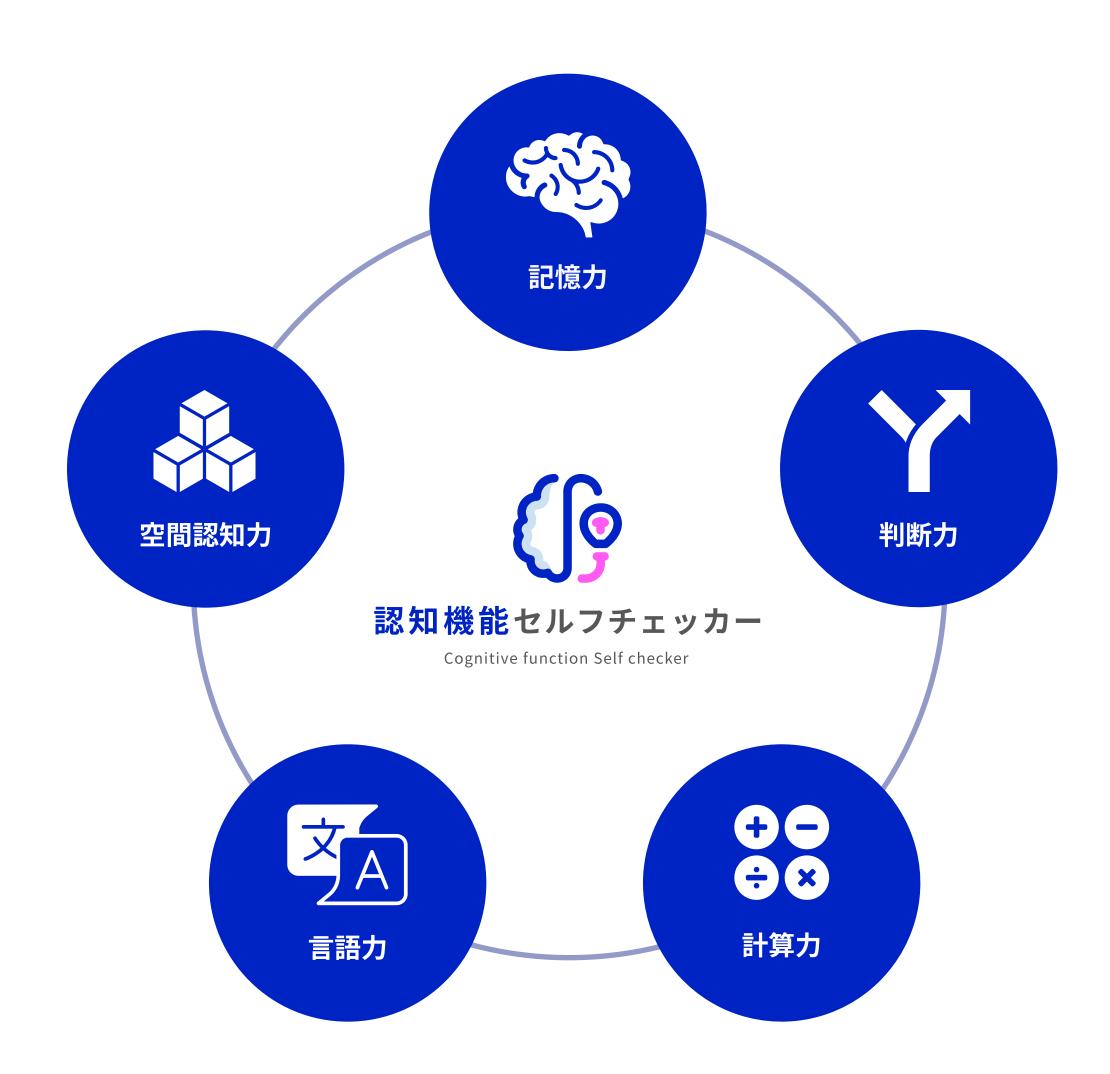
認知症予備軍が増加する中 認知機能の状態を把握することは重要です

検査内容

VR画面上で出題される認知課題に対して「視線だけ」で答えていきます。

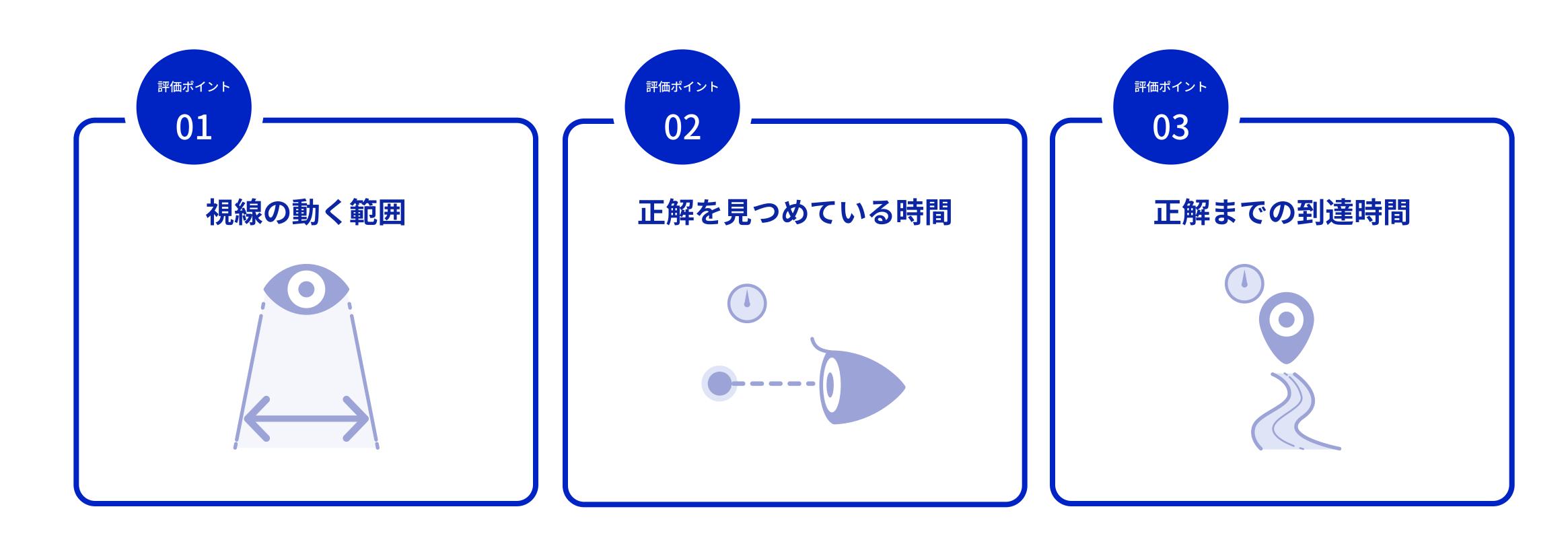
認知課題は「記憶力・判断力・空間認知力・計算力・言語力」の5つのカテゴリーに分かれており、合計9間の課題に回答します。

各カテゴリーに対して複数の問題を用意しており、それらをランダムに出題することで、たとえ何度検査を受けても学習効果が最小限となるように工夫しています。



検査評価方法

高度な視線追跡技術から得られる情報を元にして、 独自の評価アルゴリズムによって検査結果を算出します。

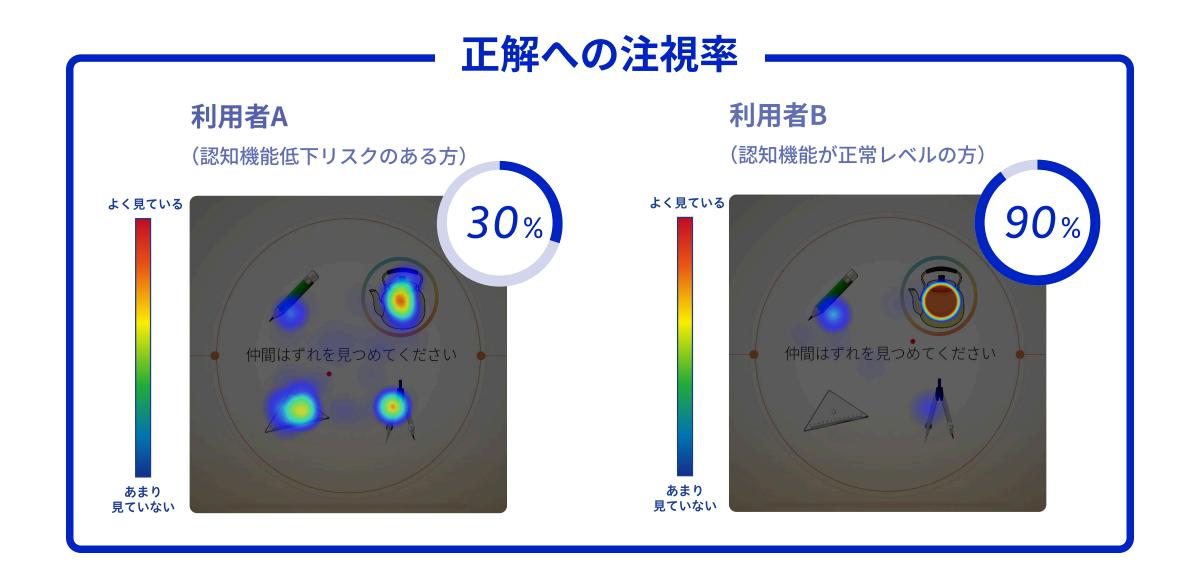


検査評価方法

課題内容:仲間外れ

問題:仲間外れだと思う選択肢を見つめてください





『正解の選択肢をどれだけ長く見つめていたか』は重要な評価ポイントの一つです。

上記の利用者2名の視線ヒートマップをご覧ください。(赤色:よく見ている 青色:あまり見ていない)

利用者Aはそれぞれの選択肢への注視時間が長く、視線にばらつきがあることが分かります。

一方、利用者Bは正解の選択肢をすぐに判別し、一つの選択肢を長く注視できています。

このような視線データが評価アルゴリズムの一つとして組み込まれ、 それらをもとに認知機能の状態を定量評価しています。

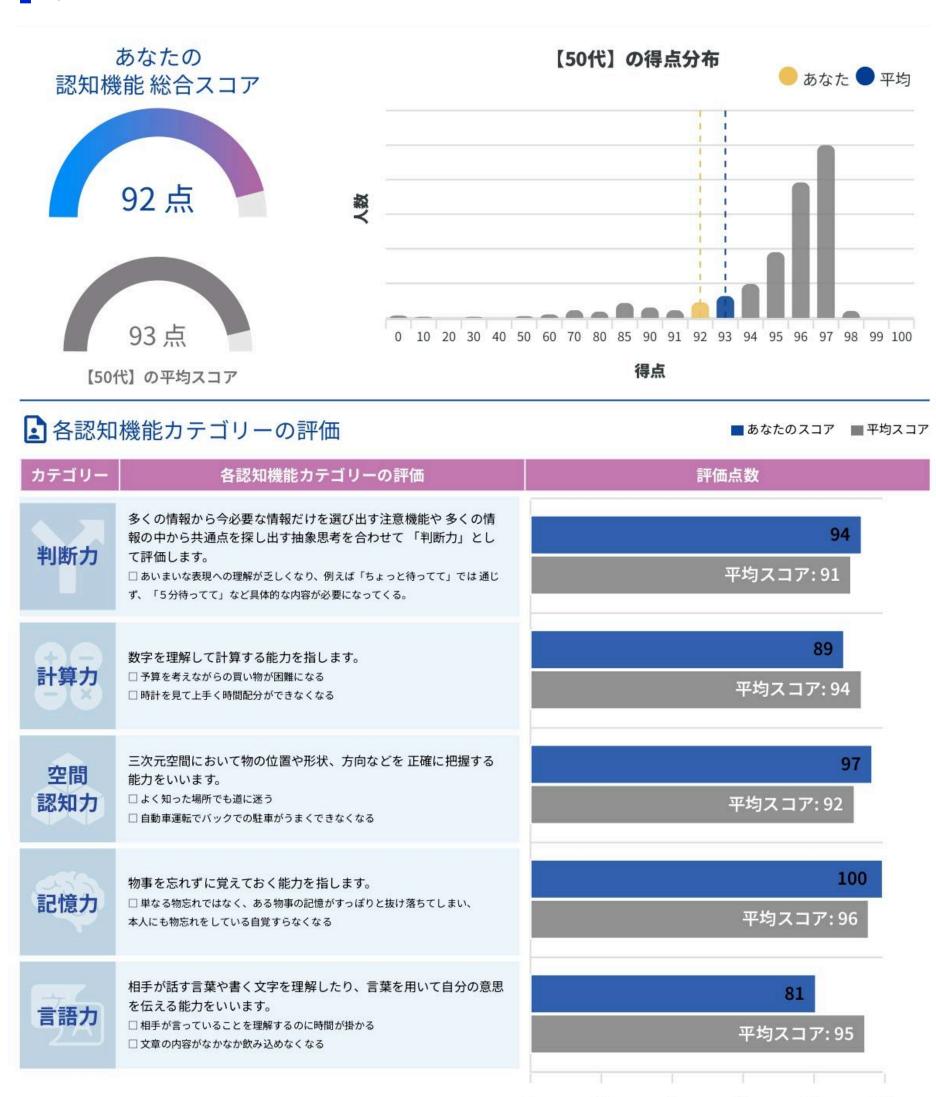
検査結果

総合評価点(100点満点)と、受検者の年齢層での順位がグラフ表示されます。

詳細な内容として、認知課題カテゴリー別の点数もご覧頂けます。

また、検査結果については、検査終了後に付属のモバイルプリンターから印刷され、すぐにご確認いただけます。





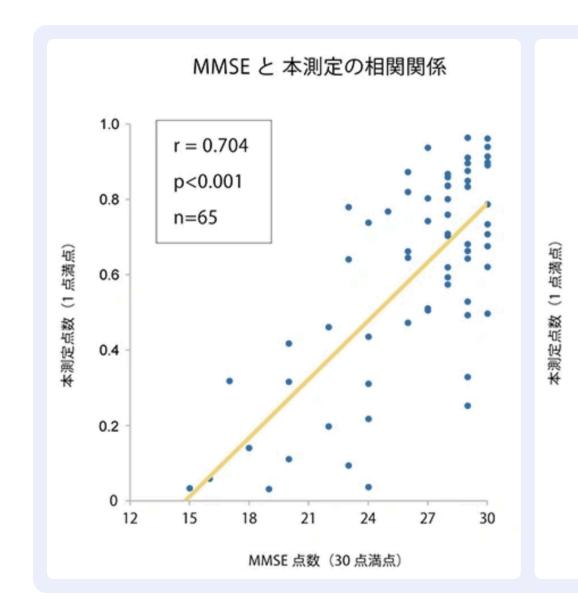
共同研究者

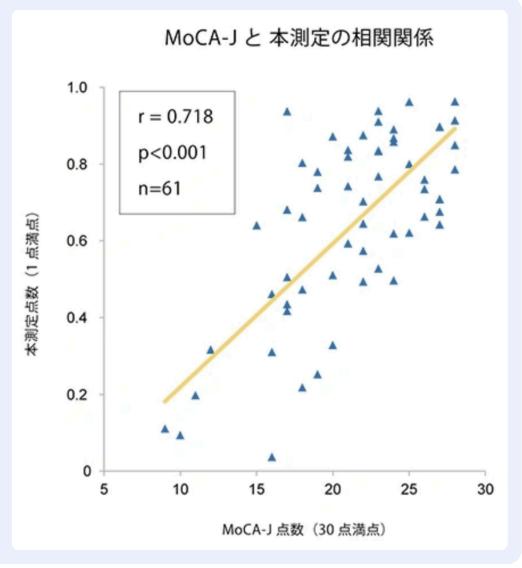


水上勝義氏

筑波大学大学院 人間総合科学学術院教授 精神科医 医学博士 認知症の予防、早期診断、治療、リハビリテーションなど認知症に関する数多くの研究と実践に精力的に取り組んできた。日本認知症学会、日本介護予防・健康づくり学会、日本老年薬学会、日本高齢者ケアリング学研究会、日本認知症予防学会など認知症に関わる多くの学会で役員を務め指導的な立場を担っている。

臨床試験について





【目的】

バーチャル空間で高精度ポジショントラッキング可能なバーチャル・リアリティデバイス(VRD)を 用いた認知機能検査を共同開発した。本研究はこのデバイスの有用性を検証することを目的とする。

【方法】

対象は認知機能正常、軽度認知障害、認知症を含む77名(男性29名、女性48名、平均年齢75.1歳,59-94歳)である。年齢、学歴、既往歴、服薬状況、生活歴、病歴などの情報を収集後、MMSEとMoCA-J(MMSEが20点以上の場合)を実施した。その後VRDを用いて認知機能評価を行った。

【結果】

VRDの得点はCDR0: 0.41±0.10、CDR0.5: 0.36±0.08、CDR1: 0.18±0.11、CDR2: 0.05であった。 VRDの認知機能評価はおよそ5分であった、眼疾患や認知症のため指示に対する理解度が低いことによりキャリブレーションができず得点が得られなかった被験者が11名いた。MMSE得点とVRD得点の Pearsonの相関係数は、0.704、MoCA-J得点とVRD得点の相関係数は0.718であった。

学会発表実績

第36回 日本老年精神医学会(2021年9月)

第40回 日本認知症学会 (2021年11月)

サービスプランについて

利用回数無制限の 月額固定プラン

ライトプラン

月額 23,000

顧客クラウド管理

なし

ウェブ店舗掲載

なし

結果通知(Eメール)

なし

結果通知 (紙印刷)

結果内容

簡易版

ネット接続

不要

契約条件詳細

初期設置費用:契約時に50,000円/台(税別)

:①VRヘッドセット1機 ②タッチスクリーン1台 機器内容

③ミニパソコン1台 ④モニターアーム1台

⑤プリンター1台

:提供価格上限は3,000円(税別) 料金設定

契約期間 :初回契約期間6ヶ月間(以降は1年毎の自動更新)

納品日 : 初期費用入金確認後、5営業日以内(在庫状況による)

導入までの5ステップ

01

02

03

04

05

お問い合わせ

デモ体験

お打ち合わせ

操作のご説明

ご利用開始



製品に関する資料請求、デモ体験申し込み



実際のデモ機による サービスご体験

※(こちらは任意となります)



申込用紙のご提出 システム登録設定の準備



機器の操作説明と ご導入の各種サポート



動作確認後、ご利用開始

サービス利用における注意点

- 1. 斜視・弱視・乱視・緑内障・白内障・網膜/角膜疾患・飛蚊症・光視症・眼瞼下垂・片目失明等の眼病を患う方
- →該当者は本サービスをご利用頂けません。(検査予約時に問診によるスクリーニングを行います)
- 2. 既に『認知症』と診断されている方
- →本サービスの利用対象者は健常者であり、既に認知症と診断されている方はご利用頂けません。
- 3. 本サービスの医学的定義
- →本サービスは「診断」を行うための医療機器ではなく、予防行動や早期発見を促すための 認知機能の状態把握を目的としたヘルスケア機器です。

お問い合わせ先

製品に関するご質問やデモ体験のご依頼、その他ご要望等御座いましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

お電話でのお問い合わせ先



10:00 - 17:00 (土日祝日は除く)

メールでのお問い合わせ先



運営会社

株式会社FOVE

東京都港区北青山2-7-26 Landwork 青山ビル518